

3M™ ウィンドウフィルム 防犯フィルム

防火設備に対応する目隠しタイプがラインアップに加わりました。



1 防火設備に貼付可能な防犯フィルム仕様に適合

防火設備に対応!

防火設備に貼付可能な防犯フィルムの仕様（2019年10月31日付け性能協 火 防設 第2号）に適合します。詳細は裏面をご覧ください。

用途

- 防火区画に設ける防火設備のガラスの飛散防止・防犯対策 (SH15CLAR-A、SH17MAML)
- 目隠ししたいマンション居室などの防火設備のガラスの飛散防止・防犯対策 (SH17MAML)



2 ガラス破壊に時間がかかり進入を困難に

窓ガラス破りの防犯対策!

窓ガラスに全面に貼ることで侵入時間を長引かせる※1ことができるCPマーク貼付対象製品※2です。

- ※1 完全な侵入阻止を保証するものではありません。
- ※2 防犯性能の高い建物部品につけられるマークです。詳細は裏面をご覧ください。



3 外からの視線を遮り、室内のプライバシーを守ります

外からの視線を遮る!

SH17MAMLは乳白色のため、緩やかに空間を遮り※3、プライバシーを守ります。

- ※3 ご使用前にサンプルなどで視線の遮り感をご確認ください。



4 飛散防止で安全!

窓ガラスが割れても飛び散りにくくなります※4。地震で窓ガラスが割れても破片の落下を低減します。

- ※4 JIS A 5759:2016 のガラスフィルムの規格を満たす飛散防止性能を持ちます。

5 UVカットで安心!

日焼けの原因となる紫外線を99%以上カットします。紫外線による家具・カーペット・畳の色あせ防止に有効です※5。

- ※5 色あせの要因には紫外線以外にもありますので、色あせを完全に防止するものではありません。

製品仕様 / 光学特性

名称	製品番号	フィルム 全厚剥離紙 除く(μm)	PET 基材厚 (μm)	透明フロートガラス(3mm厚)貼付時								虹彩 現象※1 対策品	ロール幅(mm)	ロール長さ(m)
				遮蔽 係数	日射熱 取得率	日射			可視光線		紫外線			
						反射 (%)	透過 (%)	吸収 (%)	反射 (%)	透過 (%)				
透明フロートガラス(3mm厚)ガラスメーカー資料による数値(2021年9月現在)▶				1.00	0.88	8	86	6	8	90	73	—		
防犯フィルム	SH15CLAR-A	391	325	0.95	0.84	9	79	12	9	89	0.0	○※2	1016/1270/1524	20
防犯フィルム ミルキー	SH17MAML	431	350	0.78	0.69	17	61	22	21	66	0.0	—	1270	20

- 透明フロートガラス(3mm厚)にフィルムを貼って測定しています。●測定方法はJIS A 5759:2016に基づいています。●フィルム全厚及びPET基材厚は設計上の値です。
- 上記の値は、保証値ではありません。●上記の値は、表示している最小桁の一つ下の桁を四捨五入した値です(例:測定値0.02→表示している値0.0)。
- 製品の仕様等は改良のため、予告なく変更する場合があります。

※1 虹彩現象:ウインドウフィルムは、基材・粘着剤・耐摩耗性ハードコート層などの薄膜が積層されているために光の干渉をおこします。このため室内蛍光灯の反射光や太陽の反射光による映り込みの加減でフィルム表面に虹模様が見えることがありますので、あらかじめご了承ください。

※2 フィルム内貼り時に、室内側からの虹彩現象を起こしにくした製品です。虹彩現象対策のフィルムを貼った場合でも、屋外からの外観で虹模様が見える場合がありますのでご了承ください。

遮蔽係数

- 透明フロートガラス(3mm厚)の日射熱取得率(0.88)を1とし、ガラスにフィルム貼付した場合の日射熱取得率の割合を表します。値が低いほど遮蔽効果が高く、冷房負荷の低減に効果があります。

日射熱取得率

- ガラスに入射する日射を1とした場合、室内に流入する熱量(透過と室内側再放射の和)の割合を示す数値です。

透過率・反射率・吸収率

- 曇さ(日射)や明るさ(可視光線)、UV(紫外線)の度合いを表しています。
- 可視光線反射率は屋外外観の目安になり、高いほどミラー感が高まります。
- 日射反射率の大きい製品は熱線反射タイプ、日射吸収率の大きい製品は熱線吸収タイプです。
- 紫外線透過率が低いほどUVカット効果は高く、褪色を抑制します。
- 可視光線透過率は室内に入る明るさの指標になり、50%以上であれば暗くなった感じはありません。

ご採用にあたっての注意

- 日射が当たるガラスにウインドウフィルムを貼ると、ガラスの日射吸収率が高まりガラスの「熱割れ」が発生する場合があります。ご使用前に必ずガラスの「熱割れ」が発生する可能性がないことをご確認ください。
- ウインドウフィルムは複数の薄膜が積層した構造を持つため、光の干渉を起こします。このため室内蛍光灯や太陽光の反射光が虹模様に見えることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ご使用前に必ずサンプル施工をして、外観が問題ないことをご確認ください。

3M™ ウインドウフィルム防犯フィルムはCPマーク貼付対象製品です。

CPマークとは、防犯性能の高い建物部品につけられるマークのことです。警察庁、国土交通省、経済産業省、および関係する民間団体で構成される「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」では、防犯性能試験において5分以上侵入を防ぐことのできるものを、「防犯性能の高い建物部品」と定め、その目録を公表しています。



防犯性能に関するご注意

- CPマークは、あらゆる状況において5分以上侵入を防ぐ性能を保証するものではありません。
- フィルムの防犯性能とは侵入にかかる時間を長引かせる効果で、完全な侵入阻止を保証するものではありません。
- 施工後の養生期間は1ヶ月程度必要です(冬季や、空気が滞留しやすい場所などでは2ヶ月程度必要)。養生期間は本来の性能を発揮しません。

CPマークを貼るための付帯条件

貼付フィルムに関する条件

1. フィルムはPET製で、製品全厚(剥離フィルム除く)が350μm以上であること。
2. 日本ウインドウ・フィルム工業会が指定する接着剤を使用していること。
3. 当社の防犯フィルムは、すべて貼付フィルムに関する条件に適合しています。

施工全般に関する条件

1. 日本ウインドウ・フィルム工業会が認定する「防犯フィルム施工技能者」(技能検定フィルム作業1級、2級技能士)が施工すること。
2. 可動式の場合は、クレセントがサブロック機能付とする。またサッシに補助錠がついてない時は、補助錠を設置する。
3. フィルムは、ガラスの露出部もしくは吞み込みを含む全面に貼付する。防犯性能確保のため、窓全面に貼付する「全面貼り」を行い、「部分貼り」は認めないものとする。
4. フィルムの最大幅を超えるガラスについては、幅中央部に縦にジョイント施工した場合は対象とする。

- ご採用決定の際には、あらかじめ在庫状況をお問い合わせください。
- 当社製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- 本書に記載する事項、技術資料並びに推奨は、すべて当社が信頼する情報及び試験に基づいていますが、その正確性もしくは完全性についての絶対的な保証をするものではありません。
- 使用者は使用に先立って、自己の使用目的及び用途に当社製品が適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任をすべて負うものとします。
- 当社及び当社製品の製造者の義務は、当社が別途定める条件に基づき、不良であることが証明された製品の交換、もしくは当該製品のご購入代金の返金だけであり、いかなる場合であってもそれ以外の責任は負いません。
- 上記内容と異なる保証並びに本書に記載されていない事項及び推奨は、当社及び当社製品の製造者の権限を有する役員が署名した文書によらない限り、当社は何らの責任も負いません。

3Mは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社

https://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/building-window-solutions-jp/

施工後のご注意・日常のご注意

- 透明フロートガラス(3mm厚)の日射熱取得率(0.88)を1とし、ガラスにフィルム貼付した場合の日射熱取得率の割合を表します。値が低いほど遮蔽効果が高く、冷房負荷の低減に効果があります。

防火設備に貼付できるウインドウフィルムとは

特定防火設備または防火設備の大匠認定において、防犯フィルム SH15CLAR-Aおよび防犯フィルム ミルキー SH17MAMLは、防火設備に貼付可能な防犯フィルムの以下の仕様(2019年10月31日付け 性能協 火 防 第2号)に適合します。貼付可能な防犯フィルムが大臣認定品に包括されているかどうかは、サッシメーカーなど認定取得者にご確認ください。

【防犯フィルムの仕様】構成:①及び②

①フィルム

材質:ポリエチレンテレフタレート系
組成(質量%):
ポリエチレンテレフタレート98~100
添加剤・充填剤等0~2
厚さ:325(-33)~375(+38)μm

②粘着材

材質:アクリル樹脂系
組成(質量%):
アクリル系樹脂80~100
その他添加剤0~20
質量:10(-2)~30(+15)g/m²

上記構成の防犯フィルム以外にも、防火設備の大匠認定品にガラスフィルム(ポリエステル基材厚さ50μmまたは100μm以下)が貼付可能な場合がありますので認定取得者にご確認ください。

ガラスに関する条件

○:対象であることを示します

構成	フィルムを貼るガラスの種類※1	可動式	FIX (固定式)
単板ガラス	●フロート板ガラス(5ミリ厚以上)あるいは、網入り・線入り板ガラス(6.8ミリ厚以上)	○	○
2枚複層ガラス	●屋内側/屋外側ガラス:フロート板ガラス(3ミリ厚及び4ミリ厚)※2	○	○
	●屋内側ガラス:フロート板ガラス(5ミリ厚以上)あるいは、網入り・線入り板ガラス(6.8ミリ厚以上) ●屋外側ガラス:指定はなし	○	○
3枚複層ガラス	●屋内側/屋外側ガラス:フロート板ガラス(3ミリ厚及び4ミリ厚)※2	○	○
	●中間ガラス:フロート板ガラス(厚みの指定はなし) ●屋内側ガラス:フロート板ガラス(5ミリ厚以上)あるいは、網入り・線入り板ガラス(6.8ミリ厚以上) ●中間/屋外側ガラス:指定はなし	○	○
合わせガラス	●屋内側ガラス:フロート板ガラス(5ミリ厚以上)あるいは、網入り・線入り板ガラス(6.8ミリ厚以上) ●屋外側ガラス:指定はなし	○	○
	●防犯ガラスとしてCPマーク対象となっている合わせガラス	○	○

(注)強化ガラスに防犯フィルムを施工した場合、CPマーク貼付の対象とはなりません。

※1 フロート板ガラスには、Low-Eガラス、熱線反射ガラス、熱線吸収ガラスを含みます。

※2 中空層が真空層の場合は対象外です。 ※3 対象製品は、SH15CLAR-AとULTRA S2200です。

3M™ ウインドウフィルムのご用命は、お気軽に当社特約店へ

2026年3月発行

カスタマーコンタクトセンター
製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-012-123

9:00-12:00、13:00-17:00/月~金
(土日祝年末年始は除く)

Please Recycle. Printed in Japan.
© 2026, 3M. All Rights Reserved.
RED-617-A(032610)